

小美玉市の歴史を知ろう⑬

小川素鷲神社と祇園祭

「祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり！」で始まる有名な軍記物を覚えている方も多いでしょう。平家の盛衰を描いた『平家物語』です。冒頭部分の祇園精舎とは、仏教発祥の地、古代インドにあつたとされる寺院のことです。この祇園精舎の守護神である「牛頭天王」は、疫病を流行らせる神とされています。その「牛頭天王」を慰め、和ませることで疫病を防ごうとしたのが祇園信仰の始まりで、旧暦六月に例祭として定着したのが祇園祭です。



素鷲神社

日本古来の神と外来宗教の仏教が結合した神仏習合では、「天照大神」の弟神である「建速須佐之男命」と結びつきました。明治の神仏分離令後、全国にある天王社は、「建速須佐之男命」を祀る神社となり、社名も改称されました。現在では、京都祇園八坂神社などを総本社として、祇園神社、素戔鳴神社、祇園神社等となっています。

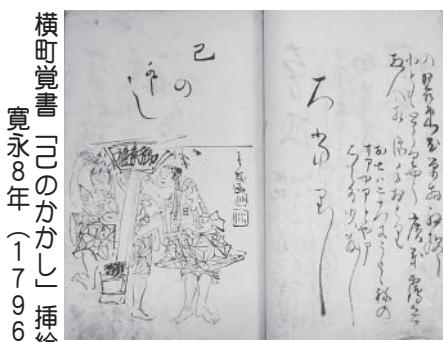
「祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり！」で始まる有名な軍記物を覚えている方も多いでしょう。平家の盛衰を描いた『平家物語』です。冒頭部分の祇園精舎とは、仏教発祥の地、古代インドにあつたとされる寺院のことです。この祇園精舎の守護神である「牛頭天王」は、疫病を流行らせる神とされています。その「牛頭天王」を慰め、和ませることで疫病を防ごうとしたのが祇園祭です。

小川の祇園祭は、旧暦の6月1、7、11、13日の4日にわたることから、「四度の王さま」と呼ばれています。

小川の祇園祭は、旧暦の6月1、7、11、13日の4日に親しみをこめて、「小川の天王さま」と呼ばれています。部城の守り神として城外に祀られました。天保十一年（一八四〇）、神仏習合の社名であること理由に現在の社号に改称しましたが、現在でも親しみをこめて、「小川の天王さま」と呼ばれています。

この「牛頭天王」は、疫病を流行らせる神とされています。その「牛頭天王」を慰め、和ませることで疫病を防ごうとしたのが祇園祭です。

日本古来の神と外来宗教の仏教が結合した神仏習合では、「天照大神」の弟神である「建速須佐之男命」と結びつきました。明治の神仏分離令後、全国にある天王社は、「建速須佐之男命」を祀る神社となり、社名も改称されました。現在では、京都祇園八坂神社などを総本社として、祇園神社、素戔鳴神社、祇園神社等となっています。



横町覚書「己の力かし」挿絵
寛永8年（1696）

この「横町覚書」は現在、小川資料館で開催されている参考展I「小川素鷲神社と祇園祭」にて展示されています。

この「横町覚書」は現在、小川資料館で開催されている参考展I「小川素鷲神社と祇園祭」にて展示されています。

この「横町覚書」は現在、小川資料館で開催されている参考展I「小川素鷲神社と祇園祭」にて展示されています。

この「横町覚書」は現在、小川資料館で開催されている参考展I「小川素鷲神社と祇園祭」にて展示されています。

この「横町覚書」は現在、小川資料館で開催されている参考展I「小川素鷲神社と祇園祭」にて展示されています。

棚一枚でもお気軽にどうぞ！

株式会社 笹光建設

〒311-3416 茨城県小美玉市与沢 253-37
TEL 0299-54-0618 FAX 0299-54-0421
www.sasamitu.co.jp/

新築 / 増改築 / 小さなリフォームなど

人と自然が調和する
地域づくりを応援します

株式会社 明和技術コンサルタンツ

代表取締役 戸塚一夫

〒311-3414 茨城県小美玉市外之内398番地の1
TEL 0299-54-0009
<http://www.meiwagijutsu.com/>